

2016ジャパンパラアルペンスキー競技大会結果報告

(3月20日～21日 長野県白馬村)

今シーズンラストレースである2016ジャパンパラアルペンスキー競技大会が長野県白馬村にて3月20日～21日の2日間開催されました。

今年は例年がない雪不足のため、3日間で4種目を行う予定を回転の1種目を2日間続けて行うという日程へと変更になりました。結果は簡単なコースに苦戦し2日間とも2位となり得意種目で優勝できないという残念な結果になってしまいましたが、今シーズン怪我などがなく最後までレースに出場できた事は正直ホッとしております。

今シーズンのレースの方は全て終わりましたが、雪上でのトレーニングはスキー場がクローズするまで行う予定です。

そして、シーズンが終わりましたら来季に向けマテリアル（用具）を変えようと考えています。速くなる為には肉體改造も必要ですが、障害者スポーツはマテリアルも大きく影響するため、同時に進めていき、来季は先輩をぎゃふんと言わせられるくらい強くなってみせたいと思います。

KYB株式会社 広報部
鈴木 猛史

◆男子座位 回転

<3月20日 大会初日>

1位 森井 大輝（トヨタ自動車）

2位 鈴木 猛史（KYB）

3位 狩野 亮（マルハン）

<3月21日 大会二日目>

1位 森井 大輝（トヨタ自動車）

2位 鈴木 猛史（KYB）

3位 夏目 堅司（ジャパンライフ）



左が鈴木猛史選手

以上